

広報

やまゆり

第 74 号

2018・2・1

社会福祉法人明峰福祉会

特別養護老人ホーム

やまゆり荘

〒449-0211

東栄町大字中設楽字

松久保1-3

☎0536-79-3534

回覧

ホームページ

http:www.

meiho-f.com/

「年頭に想うこと」

理事長 佐々木 経人

謹んで新年のお慶び申し上げます。
旧年中は、施設運営諸般に亘り心強いご支援を賜りありがとうございました。
年頭に当たりふと思ふことがあり、述べさせていただきます。

十二月三十一日と一月一日、たった一日の違いではあるものの、大きな節目であり新たな気持ちで新しい年を迎え、「〇〇を目標に今年も頑張るぞ。」と言う誓いの一日であります。この事を、日々の暮らしに生かしたらどうでしょう。今日一日の反省を明日に生かし新たな気持ちで前向きに取り組むことで、一年中計画性を持った日々を迎えることができるのではないのでしょうか。

「一年の計は元旦にあり」と言われますが「一日の計は朝にあり」と考え、計画性のある日々を送りたいと思います。

終わりに、皆様方のご健勝とご多幸を記念し年頭の挨拶とさせていただきます。

明けましておめでとーございませす

荘長 三城 富子

新年に夢と希望を託し健康祈願。当たり前に出来たことができなくなり、年を重ねたなと感じつつ「生ある限り元気でいたい」という願いは叶えられるのでしょうか。

さて、介護保険制度も創設からやがて十八年経過、この四月には三年ごとの介護報酬改定、そして新たに八市町村の保険者が東三河広域連合として始動します。世の中はいつも動いています。日本の人口減少が始まりました。北設地域の人口減少、少子化と超高齢化社会にブレーキはかかりません。人材集約の目的もあり通所事業の統合も実施しましたが、人材確保難という現実にも明るい材料は見当たりません。慢性化している人材枯渇さらに厳しくなります。大きな壁がありますが、地域を守るという法人の理念に伝えるため地域の皆様のご理解ご支援をいただき職員一同志を高く歩んでまいります。

元日のお屠蘇 おとそ

平成三十年の年があげました。やまゆり荘では、元旦の朝毎年お屠蘇くばりを行ってお正月気分を味わって頂いています。今年は見護師さんの娘さん二人がボランティアで参加して頂きました。一人には、振袖を着て頂き、もう一人には、訪問着を着て頂きました。男の職員にはアンサンブルできりつと決めて、お屠蘇配りが始まりました。みなさん「わーすてき！きれいだやー」と喜ばれたり、何事がおきたのか、びっくりしたり



